

ユニークな
地質系博物館
(17)

日本最古の石博物館

坂野靖行¹⁾

岐阜県加茂郡七宗町には飛水峡と呼ばれる飛騨川沿いの溪谷があり、チャートに刻まれたおう穴群で有名です。飛水峡周辺には、美濃帯の岩石、すなわち前述のチャートをはじめ、砂岩、頁岩、礫岩などが分布しています。飛水峡南部に上麻生礫岩が露出しています。いうまでもありませんがこの礫岩は日本最古の石、すなわち約20億年前の年代を示す片麻岩礫を含むことで有名です。1996年に開館した七宗町立日本最古の石博物館は我が国で唯一先カンブリア時代を対象を絞った博物館で、その名のとおり日本最古の石が展示の目玉となっています。

博物館の外観は大変ユニークで、あたかも宇宙船が着陸したようです(写真1)。博物館に入ると回転する大きな地球儀が目に入ってきます(写真2)。地震波トモグラフィーによる地球内部の地震波速度の分布が示されているのが特徴です。大映像室では、この博物館の案内役の“レッキー君”(写真1)が宇宙の誕生から現在までの地球の歴史を説明してくれます。15分間の映像を見た後は、タイムスリップエレベーターに乗って地下1階の展示室へ行きます。ここでは主に先カンブリア時代、上麻生礫岩、七宗町周辺の地質に関する展示を見ることができます。先カンブリア時代の展示ではオーストラリア・ピルバラ地域の枕状溶岩、ピロープレッチャ(写真3)及び層状チャートの大型標本が見事です。この他に世界最古の石といわれるアキャスト片麻岩やアマツォク片麻岩、コマチアイト、縞状鉄鉱層、ストロマトライト、オーソコーツアイト、ディッキンソニア(エディアカラ動物群の一員)など教科書に出てくる先カンブリア時代の代表的な岩石や化石を一

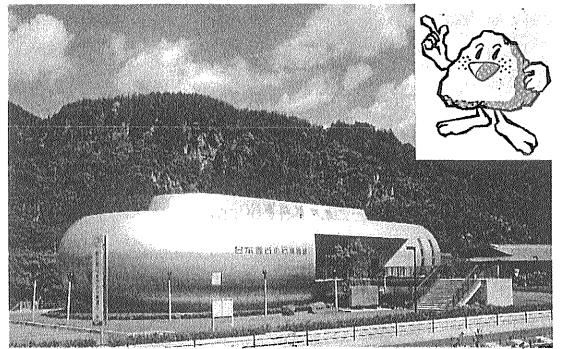


写真1 日本最古の石博物館の外観と博物館のキャラクター“レッキー君”(右上)。(日本最古の石博物館提供)

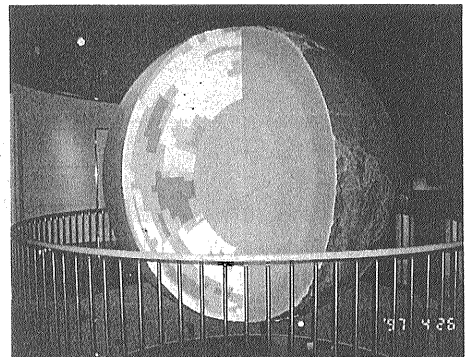


写真2 入口付近にある大型地球儀。太平洋を南北に切る断面に地震波速度分布が示されている。

通り見ることができます。また約21億年前の年代を示す韓国のイムフオン花崗片麻岩が展示されており、上麻生礫岩の礫の供給地は韓国東部を含む北方の先カンブリア時代の大陸であると説明されています。展示室の中央付近に長径1.5mに達する大きな上麻生礫岩が鎮座しています。この大き

1) 地質調査所 地質標本館

キーワード: 岐阜県, 七宗町, 日本最古の石, 上麻生礫岩, 先カンブリア時代

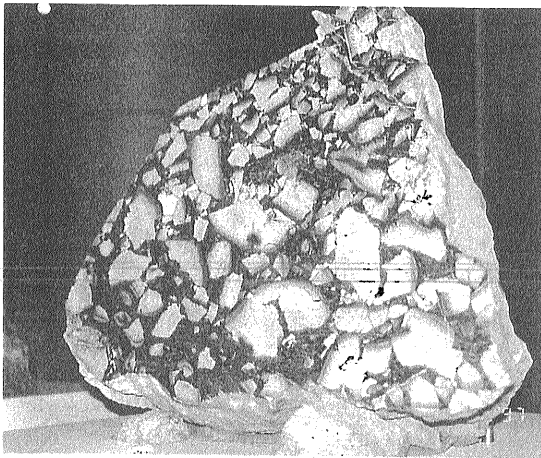


写真3 ピロープレッチャ、オーストラリア・ピルバラ地域
ノースポール産、長径60cm.

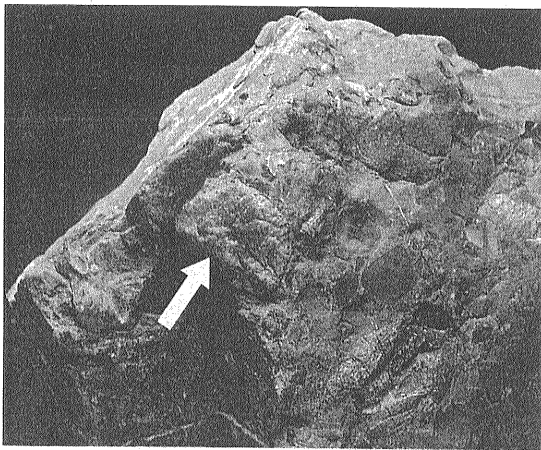


写真4 上麻生礫岩の拡大写真。矢印で示される白っぽく見える礫が日本最古の石(約20億年前の片麻岩礫)。礫の長径は7.5cm。(日本最古の石博物館提供)

な岩は飛騨川河床にあった転石だそうです。この中に博物館の目玉である日本最古の石(約20億年前の片麻岩礫)が含まれており(写真4)、見学者は自由に手で触ることができます。この隣に七宗町周辺地域の立体地質模型があり(写真5)、モニター上のタッチパネルを押すと地質断面を見ることができます。館内を全部見終わったら1階の入口付近にあるクイズコーナーでクイズに挑戦してみまし

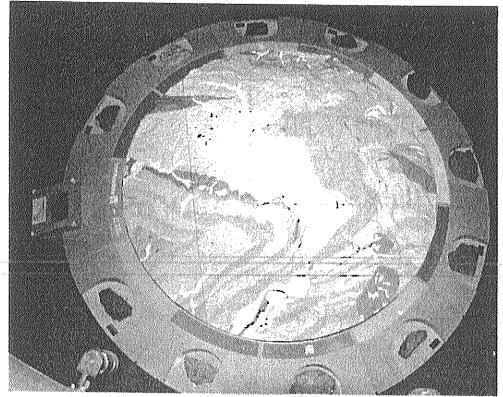


写真5 七宗町周辺の立体地質模型。縮尺は5,000分の1(垂直は1.2倍)。地質調査所の5万分の1地質図幅「金山」をもとに作製された。

よう。4問すべて正解するとチャート、石灰岩などのプレゼントがもらえます。

博物館は国道41号線沿いにあり、名古屋から下呂・高山方面に行く途中に位置するため多くの観光客が立ち寄るとのことです。また博物館から歩いて行ける範囲に飛水峡のチャート露頭や上麻生礫岩露頭があるので、上麻生周辺への地質巡検の際に見学されてはいかがでしょうか。

日本最古の石博物館

〒509-04 岐阜県加茂郡七宗町中麻生1160番地

Tel 0574-48-2600

Fax 0574-48-2601

開館時間：午前9時～午後4時30分

(入館は4時まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は開館)

国民の祝日・休日の翌日

年末年始(12月28日～1月4日)

入館料：小・中学生 300円(団体 200円)

一般 500円(団体 400円)

未就学児は無料、団体は20名以上

交通：JR高山本線上麻生駅より徒歩15分

BANNO Yasuyuki (1997) : Geological Museum in Japan 17, "Hichiso Precambrian Museum".

<受付：1997年6月9日>